

Global Design Lecture & Seminar

Global Design Lecture 14:55-15:50 [講演：日本語]

「ICTは、人間の心の問題の解決に役立つのか？」

下山 晴彦 (大学院教育学研究科 総合教育科学専攻 臨床心理学コース・教授)

わが国のメンタルヘルス問題は深刻である。その原因として、患者が適切な治療にアクセスできないサービスギャップがある。患者は精神障害のスティグマと薬漬けを恐れて治療を避け、有効性が実証されている認知行動療法（CBT）の利用が進まない。CBTは、患者の認知、行動、生理、感情を操作して環境との関係を改善する。そこにインターネット、AI、ロボット、ARといったICTを媒介させることで、多様なCBTサービスを多くの患者に届けることができる。また、病院中心から地域生活中心へ、治療から予防・健康促進へといったメンタルヘルス・イノベーションやビッグデータの活用も可能となる。本講義では、下山研究室で開発したiCBTを紹介しつつ、メンタルヘルス最前線を解説する。

Global Design Seminar 15:50-16:40 [講演：日本語]

「Microsoft HoloLens

～ MIXED REALITY がもたらす新しい世界 ～」

千葉 慎二 (日本マイクロソフト(株) コマーシャルソフトウェアエンジニアリング
本部 テクニカルエバンジェリズム部・テクニカルエバンジェリスト)

コミュニケーション、調査、創造、共同作業…普段の仕事や生活で何気なくすること全てはアナログです。HoloLensはこのアナログの世界にデジタル情報を融合することでそれらを一変させ新たな価値を与えます。本講演ではHoloLensの概要、事例そしてアプリケーション開発の手法から未来の可能性についてデモを交えながら紹介します。

9月20日(水) 14:55～16:40

工学部3号館2階 GCLラボ

GCLプロジェクトインキュベーション機構 (pim@gcl.i.u-tokyo.ac.jp)